

道の駅への期待

神奈川県茅ヶ崎市 服部信明氏

白い波が砕ける湘南の青い海。若大将シリーズで一世を風靡した加山雄三さんや、国民的な人気を誇るミュージシャン桑田佳祐さんのサザンオールスターズ。茅ヶ崎といえば、まず思い起こされるのが、そんな文化やリゾート感覚を生んだ町、という印象が一般的でしょうか。そこに今、道の駅を造る計画を進めています。

茅ヶ崎市は、都心から南西約50キロに位置し、湘南エリアでは最も長い海岸線を持つ人口約24万人のまちです。この海岸線には、国道134号が走っており、湘南のイメージや雰囲気をつづくる大きな要素となっています。

平成27年3月には、さがみ縦貫道路（首都圏中央連絡自動車道の一部）が全線開通し、今後、横浜湘南道路や高速横浜環状南線が平成32年度に開通する予定で、本市を取り巻く道路環境は大きく変化しています。近隣の江の島では、東京オリンピック

情報発信の基地として、賑わいの拠点として



・パラリンピック競技大会のセーリング競技も開催されることになっています。

これらのことは、本市に対する人や物の流れに大きな影響があると考えており、地域経済の好循環を図る絶好の機会であると捉えています。このための一つのキツカケづくりとして浮上したのが道の駅です。さがみ縦貫道路から繋がる新湘南バイパスの現在最終地点付近の国道134号沿いに、平成31年度のオープンを目指して道路管理者である神奈川県とともに道の駅の整備を進めています。

国道134号は、お正月の

風物詩である箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走）のコースにもなっており、道の駅が完成した際には全国の皆さんに本市の魅力を広くアピールできるものと考えています。そのためには、道の駅としての魅力もしっかり高めていかなければなりませんし、市街地に近い立地を最大限に活かす必要もあると考えて、そのための議論を地域の方々と行っています。

道の駅は、道路利用者の皆さんへの安全で快適な道路交通環境の提供が重要であることはもちろん、地域にお住まいの方々にとって身近な交流の場となるとともに、防災機能も有した安全安心の場となることも大切であると感じています。この道の駅が湘南のイメージを体現した都市型の道の駅となり、本市の活力向上や賑わいの拠点として中心的な役割を担うものと大いに期待しています。